

### 第3学年3組外国語活動指導案

平成30年11月14日(水) 5校時

指導者 飯島 加奈子(英語専科)

場所 3-3教室

1 単元名 What's this? ~松江のおすすめクイズを作ろう~ (「Let's try! 1」Unit8)

2 単元の目標

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

相手を意識して、進んである物についてそれが何かを尋ねたり答えたりしようとする。

【外国語への慣れ親しみ】

身の回りの物の言い方やある物が何かを尋ねたりそれについて答えたりする表現に慣れ親しむ。

【言語や文化に関する気付き】

身の回りの物の外来語とそれが由来する英語の違いに気付く。

3 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
相手を意識して、進んである物についてそれが何かを尋ねたり答えたりしようとしている。	身の回りの物の言い方やある物が何かを尋ねたりそれについて答えたりする表現に慣れ親しんでいる。	身の回りの物の外来語とそれが由来する英語の違いに気付いている。

4 単元の構想

(1) 単元の内容について

本単元は What's this? の英語表現を使って、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことをねらいとしている。そのために、クイズを出し合う活動を設定する。単元の終末には ALT を招待した「松江のおすすめクイズ大会」を設定し、ある物が何かを尋ねたり答えたりする場面や状況を楽しみながら体験させたい。クイズを出し合うことは児童にとって興味深く、積極的に「尋ねたくなる、答えたくなる」活動になると思われる。また、児童は総合的な学習の時間において、夏休みと2学期に「松江じまん(松江のおすすめの場所や食べ物)」について調べ学習をしている。他教科で学習したことをクイズに取り入れることで、児童の学びを深めることができると考える。そして、松江のことを詳しくは知らない身近な外国人にクイズを出すことで、「松江のことを伝えたい」という思いを強くもったり、より相手に伝わるように工夫したりすることができると思われ。

本単元で扱う語彙は野菜や果物などであり、児童が普段の生活の中で外来語として耳にするものが多い。そのため、外来語とそれが由来する英語の違いにも気付きやすい。そして、英語の音声を何度も聞かせたり言わせたりして身の回りの物の言い方に慣れ親しませていきたい。本単元ではこれまでの経験や慣れ親しんできた表現を活用し、児童が自然に英語で尋ねたり、答えたりしてコミュニケーションの楽しさを実感できると考える。

## (2) 児童の実態について

〈個人情報保護のため省略〉

## (3) 指導の方法について

本単元では児童が見通しをもって学習に取り組めるよう学習のおおまかな流れを一定にしたり,学習の流れを掲示したりする。1時目に単元の終末の活動は「クイズ大会をする」ということを伝える。また,授業の始めにモデルとなるようないろいろなクイズを取り入れる。こうすることで,児童が目指す姿をイメージできる手助けとなると考える。

本時(1時目)では,身近な虫の写真や虫と野菜と果物の映像資料を見せ,“What’s this?”の表現に出会う。児童のつぶやきを拾って英語で返し,自分たちで「クイズが解けた」「英語を使って質問に答えられた」など楽しんで英語に親しめるようにしていきたい。身の回りの外来語とそれが由来する英語の違いに気づくよう,強く発音する部分は手を上げたり,音節では手を回したりして体を使って表現するよう声かけをする。2時目では1時目で学習したあるものが何かの表現に,より慣れ親しませる。ヒントは言葉だけではなく,ジェスチャー(動作)を加えたり,全体像の絵を描いたりするなど相手によりわかりやすく伝わる方法を考える。“What’s this?”の表現も教師と一緒に発音しながら,慣れ親しませるようにしたい。3時目では,答える際に“it’s a ~.”の文を扱う。ヒント・クイズでは,代表児童と全員だけではなく,ペアやグループ活動など学習形態を工夫する。答える時,伝えようとする態度を称賛し,全体で共有できるようにしていきたい。4時目では,前半は漢字クイズ・足あとクイズを答える体験をする。後半はALTを招いて母国のアメリカのフロリダについて食べ物などクイズで紹介してもらおう。4時目までで学習したクイズの答え方など実践できると思われる。ALTからのアメリカの紹介を受けて,今度は自分たちも何か松江の紹介をしたいという気持ちにつなげていきたい。児童は,総合的な学習の時間に松江について調べ学習をしてきているので,それを生かせる場になるのではないかとと思われる。1時目から4時目までで毎時間少しずつ松江についての単語もクイズコーナーで紹介し,ふれていく。5時目では今まで体験した様々なクイズ形式の中からクイズ大会とする形式と問題を選び,準備したり友達にクイズを出し合ったりする。6時目では,これまで慣れ親しんできた表現を使って,松江のおすすめクイズ大会を行う。クイズではなぜその題材を選んだのか理由を日本語でも伝えられるようにしていきたい。そうすることが,自己理解につながり,自分の考えや気持ちを伝え合う力の素地を養うことにつながると考える。また,松江のおすすめクイズ大会では相手に伝えるにはどのような工夫が必要かを考えさせ,活動のめあてを意識させていきたい。

単元全体を通して,英語で伝え合うことの楽しさを味わえるように,児童の英語で伝えようとする姿を誉めたり,笑顔で楽しい雰囲気づくりをしたりしていきたい。毎時間,振り返りカードで学習を振り返るようにし,児童のがんばりを全体で共有し,友達のよさに気づいたり,次の活動への意欲につなげたりできるようにしたい。

## 5 単元指導計画

時	目標と主な活動	評価の観点			評価規準 【観点】 (方法)
		コ	慣	気	
1 本	○身の回りの物の外来語とそれが由来する英語の違いに気付く。			○	○身の回りの物の外来語とそれが由来する英語の違いに気付いている。

時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クイズコーナー</li> <li>・P 3 1 【Let's play1】</li> <li>・P 3 2 【Let's play2】</li> <li>・シャッフルクイズ</li> </ul>			〈行動観察・振り返りカード〉
2	<p>○ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現や身の回りの物の言い方を聞いたり言ったりして慣れ親しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クイズコーナー</li> <li>・【Let's chants】</li> <li>・What's this?クイズ</li> <li>・ステレオ・ゲーム</li> <li>・【Activity】 hintQ1</li> </ul>		○	○ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現や身の回りの物の言い方を聞いたり言ったりして慣れ親しんでいる。〈行動観察・振り返りカード〉
3	<p>○ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クイズコーナー</li> <li>・【Let's chants】</li> <li>・Numbers</li> <li>・【Activity】 hintQ2,3</li> </ul>		○	○ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。〈行動観察・振り返りカード〉
4	<p>○ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クイズコーナー</li> <li>・【Let's chants】</li> <li>・P32,33 【Activity】</li> <li>・ALT からのアメリカのクイズコーナー</li> </ul>		○	○ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。〈行動観察・振り返りカード〉
5	<p>○友達に伝わるように工夫して、クイズを出したりクイズに答えたりしようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【Let's chants】</li> <li>・クイズ大会の準備</li> </ul>		○	○友達に伝わるように工夫して、クイズを出したりクイズに答えたりしようとしている。〈行動観察・発表の絵・振り返りカード〉
6	<p>○ALT に伝わるように工夫して、クイズを出そうとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【Let's chants】</li> <li>・クイズ大会</li> </ul>		○	○ALT に伝わるように工夫して、クイズを出そうとしている。〈行動観察・発表の絵・振り返りカード〉

## 6 言語材料

○What's this? Hint, please. It's (a fruit). It's (yellow). It's (a monkey). That's right.

○動物 (elephant, mouse, bird, etc) 野菜 (tomato, carrot, green papper, etc) 果物 (peach, pineapple, etc)

松江 ( Matsue castle, sunset, Shinji lake, bird, Japanese sweet, ship, fireworks, etc)

7 本時の活動

- (1) 目標 身の回りの物の外来語とそれが由来する英語の違いに気付く。
- (2) 展開

児童の活動	指導者の活動
1 あいさつ (5分) ・クイズコーナー 2 今日のめあてを知る。(3分)	・笑顔で元気よく挨拶をして和やかな雰囲気をつくる。 ・本時の流れを伝え,見通しをもたせる。
英語で身の回りの物を言ってみよう。	
3 【Let's play1】(6分) ・映像資料から隠れているものが何かを考える。 ・木?・くも? 4 【Let's play2】(13分) ・映像のシルエットや断面図から何かを考えて答える。 ・パイナップル?ピーチ? ・ピーマン?トマト? “What's this?” “ [ It's a] carrot.”	・分かりにくい場合はジェスチャーや写真でヒントを出す。 ・分かりにくい場合は既習の色やカテゴリー (野菜・フルーツなど) をヒントに出す。 ・英語で強く発音する部分は手を高く上げたり,音節で手を回したりするなどの見本を示す。
評価 【気】 身の回りの物の外来語と英語の違いに気付いている。 (行動観察・振り返りカード)	
5 シャッフル・ゲーム (10分) ・裏返してある3枚の絵カードが何かを答える。(児童と教師) “What's this?” “ [ It's a] mouse.” 6 振り返り (8分) ・単元の終末の活動を知る。 ・振り返りカードを記入し,感想を発表する。	・デモンストレーションで例を示す。慣れてきたら3枚の絵カードを替えたり,児童にもボランティアを募ったりして,練習する。 ・単元の終末にクイズ大会をすることを伝える。 ・英語を使おうとする態度やできるようになったことを称賛し,次時への意欲をもたせる。

( 3 ) 本時の評価

おおむね満足できる状況	支援が必要な児童への手立て
<p>身の回りの物の外来語とそれが由来する英語の違いに気付き,発音したり,振り返りカードに書いたりしている。</p> <p>(十分満足できる状況になるための手立て)</p> <p>身の回りの中で使われている他の外来語にも目を向けるよう声かけをする。</p>	<p>児童が困っている様子が見られたら,身の回りの物の英語について指導者の発音を聞かせたり,手を使って一緒に発音したりして確認し,身の回りの物の外来語とそれが由来する英語の違いに気付くようにする。</p>